

NY マーケットレポート (2015 年 1 月 2 日)

堅調な株価動向を受けて、序盤のドル円・クロス円は堅調な動きとなった。しかし、米 ISM 製造業景況指数が昨年 6 月以来の低水準となったことや、米建設支出が5ヵ月ぶりのマイナスとなるなど、いずれも市場予想を下回る結果となったことを受けて、ドルが主要通貨に対して軟調な動きとなった。また、指標結果を受けて、堅調だった株価が一転して下落に転じたことから、クロス円も軟調な動きとなった。ただ、午後には株価が下げ幅を縮小したことから、ドル円・クロス円は値を戻す動きとなった。一方、ドラギ ECB 総裁が、必要であれば今年初めに行動する用意があるとあらためて表明したことから、ユーロは主要通貨に対して下落し、特にドルでは 2010 年 6 月以来の安値を付ける動きとなった。

2015/1/2 (金)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	120.46	120.51	119.72
EUR/JPY	145.20	145.22	144.77
GBP/JPY	187.15	187.32	186.54
AUD/JPY	98.01	98.11	97.78
EUR/USD	1.2057	1.2108	1.2036

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	120.66	120.31
EUR/JPY	145.31	144.91
GBP/JPY	187.28	185.83
AUD/JPY	98.06	97.78
EUR/USD	1.2070	1.2036

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	休 場	
ハンセン指数	23857.82	+252.78
上海総合	休 場	
韓国総合指数	1926.44	+10.85
豪ASX200	5435.93	+24.93
インドSENSEX指数	27887.90	+380.36
シンガポールST指数	3370.59	+5.44

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6547.80	-18.29
仏CAC40	4252.29	-20.46
独DAX	9764.73	-40.82
ST欧州600	341.33	-1.21
西IBEX35指数	10350.80	+71.30
伊FTSE MIB指数	19130.26	+118.30
南ア 全株指数	49518.48	-252.12

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	120.49	120.75	119.83
EUR/JPY	144.61	145.23	144.13
GBP/JPY	184.76	186.17	184.34
AUD/JPY	97.52	97.89	97.35
NZD/JPY	92.73	93.06	92.57
EUR/USD	1.2002	1.2045	1.2001
AUD/USD	0.8094	0.8132	0.8078

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17832.99	+9.92
S&P500	2058.20	-0.70
NASDAQ	4726.81	-9.24
その他主要株	終値	前日比
🇨🇦 トロント総合	14753.65	+121.21
🇧🇷 ボルサ指数	42115.47	-1030.19
🇲🇽 ボベスパ指数	48512.22	-1495.19

1/5 経済指標スケジュール

09:30	【豪】12月ANZ求人広告件数
14:00	【日】12月自動車販売台数
15:00	【南ア】12月外貨準備高
17:30	～ 18:30
	【スイス】【英】12月製造業PMI
18:30	【欧】1月センチックス投資家信頼感
21:00	【米】1月RBC消費者予測指数
22:00	【独】12月消費者物価指数

コモディティー	終値	前日比
NY GOLD	1186.20	+2.10
NY 原油	52.69	-0.58
CMEコーン	395.75	-1.25
CBOT 大豆	1007.50	-16.00

米国債利回り	本 日	前 日
2年債	0.67%	0.67%
3年債	1.06%	1.07%
5年債	1.61%	1.65%
7年債	1.92%	1.98%
10年債	2.12%	2.17%
30年債	2.69%	2.75%

1/5 主要会議・講演・その他予定

(出所: SBILM)

NY 市場レポート

22:00

ドル/円 120.64 ユーロ/円 145.22 ユーロ/ドル 1.2039

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6545.58	-20.51	ダウ INDEX FUTURE	17823	+71
仏 CAC40	4258.43	-14.32	S&P500 FUTURE	2060.30	+7.90
独 DAX	9743.99	-61.56	NASDAQ FUTURE	4251.00	+18.25

(出所: SBILM)

《海外の話題》

マカオ特別行政区が発表した 2014 年のカジノ収入は、前年比-2.6%の 441 億ドルと、2001 年のカジノ自由化以降初めて減少に転じた。また、12 月のカジノ収入は前年比-30.4%と、7 ヶ月連続の減少。中国政府の綱紀粛正や汚職取り締まりが響いた。

《 NY 外国為替市場 序盤 》

序盤の外国為替市場は、米 FRB が今年事実上のゼロ金利政策を解除し、日米の金利差が拡大するとの思惑から、円売り・ドル買いの動きが先行している。

23:33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17912.87	+89.80
ナスダック	4768.57	+32.52

(出所: SBILM)

23 : 40

ドイツ 5 年債利回りが初めて 0% 下回る

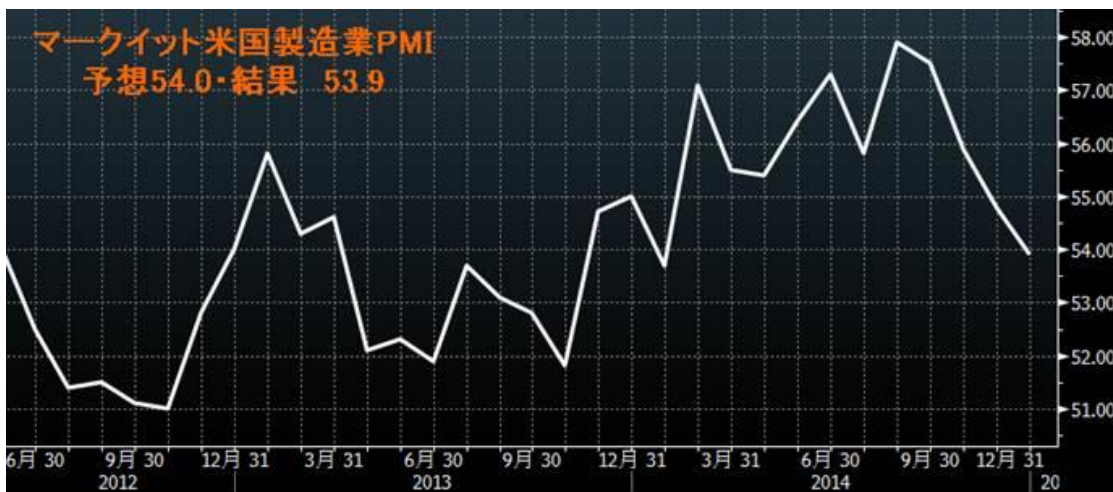


(出所:ブルームバーグ)

23 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

マークイット米国製造業 PMI 53.9 (予想 54.0 ・ 前回 53.7)



(出所:ブルームバーグ)

23 : 50

◀ 要人発言 ▶

メスター・クリーブランド総裁連銀

- ・「2015 年上半期の利上げを想像することはできる」
- ・「利上げのタイミングはデータ次第になる」

0 : 00

≪ 経済指標の結果 ≫

12月ISM製造業景況指数 55.5 (予想 57.5・前回 58.7)



経済指標データ

≪ 米 ISM 製造業景況指数 ≫

	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月
景気	55.5	58.7	59.0	56.6	59.0	57.1	55.3
価格	38.5	44.5	53.5	59.5	58.0	59.5	58.0
生産	58.8	64.4	64.8	64.6	64.5	61.2	60.0
新規受注	57.3	66.0	65.8	60.0	66.7	63.4	58.9
受注残	52.5	55.0	53.0	47.0	52.5	49.5	48.0
入荷遅延	59.3	56.8	56.2	52.2	53.9	54.1	51.9
在庫	45.5	51.5	52.5	51.5	52.0	48.5	53.0
雇用	56.8	54.9	55.5	54.6	58.1	58.2	52.8

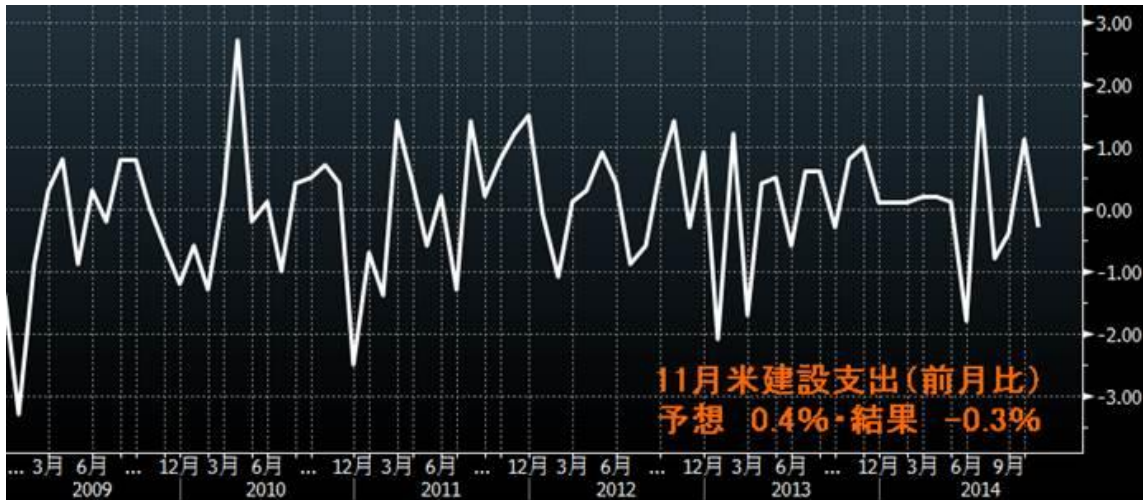
【ISM 製造業景況指数】

ISM 製造業景況指数は、全米供給管理協会（Institute for Supply Management＝ISM）が発表する米国の製造業の景況感指数であり、製造業の購買・供給管理責任者に対するアンケートを集計した指数。50 が景気の拡大・後退の判断基準であり、50 を上回れば景気拡大、下回れば景気後退と判断する。

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

11 月米建設支出（前月比） -0.3%（予想 0.4%・前回 1.2%）
 前回発表の 1.1%から 1.2%に修正



0 : 30

◀ NY 株式市場 序盤 ▶

序盤の株式市場は、今年も米景気の回復基調が続くとの期待感を受けた買いが先行しており、主要株価は堅調な動きとなっている。また、昨年末に大幅安をつけた反動で割安感の出た銘柄に買いが入ったことも後押し要因となっている。ダウ平均株価は、4営業日ぶりに大幅反発し、一時 31 日比で 128 ドル高まで上昇する動きとなった。

《 経済指標のポイント 》

(1) 12月のマークイット米国製造業 PMI 改定値は、53.9 と、前月の 54.8 から低下し、1 月以来の低水準となった。生産指数は 54.7 (前月 55.6) と 1 月以来の低水準、雇用指数は 53.0 (前月 55.1) と、7 月以来の低水準に落ち込んだ。ただ、新規受注指数はやや改善となった。マークイット担当者は、2014 年は製造業にとり、米経済が景気後退に陥って以来、最も好調な 1 年だったとしながらも、2015 年の見通しには若干かげりが出ていると指摘している。

(2) 11 月の米建設支出は、年率換算で前月比-0.3%の 9749 億 7600 万ドルで 5 ヶ月ぶりのマイナスとなり、前年同月比では+2.4%となった。公共部門がマイナスとなり、全体水準を押し下げた。

①民間の建設支出は、前月比+0.3%の 6977 億 900 万ドルと 4 ヶ月連続の増加で、2008 年 11 月以来の高水準となった。前年同月比では+2.0%となった。住宅建設が+0.9%の 3526 億 6700 万ドルと 3 ヶ月連続のプラス。前年同月比は-0.5%となった。また、住宅以外の建設は前月比-0.3%、前年同月比は+4.7%となった。製造業が伸びた一方、オフィス、医療や商業関連などが減少した。

②公共部門の建設支出は、前月比-1.7%の 2772 億 6600 万ドルと 2 ヶ月ぶりの減少、前年同月比は+3.2%となった。連邦政府が前月比 6.0%、州・地方政府は-1.3%となった。

(3) 12 月の米 ISM 製造業景況指数は、55.5 と前月から 3.2 ポイントの大幅低下となり、昨年 6 月以来の低水準となった。また、市場予想の 57.6 も下回った。ただ、製造業の景気拡大・縮小の判断基準となる 50 は 19 ヶ月連続で上回った。

①価格が 38.5(前回 44.5)、生産が 58.8 (64.4)、新規受注が 57.3 (66.0)、受注残が 52.5 (55.0)、在庫が 45.5 (51.5) と前月から悪化したが、入荷遅延が 59.3 (56.8)、雇用が 56.8 (54.9) と前月から伸びている。11 月は 18 業種中 11 業種が業況拡大を報告した。

②ISMによると、石油価格の下落でプラス、マイナス双方の影響が出ている。また、西海岸の港湾ストの影響で輸入製品の発送に悪影響が出ているとの指摘も上がっている。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6547.80	-18.29
仏 CAC40	4252.29	-20.46
独 DAX	9764.73	-40.82
ストック欧州 600 指数	341.33	-1.21
ユーロファースト 300 指数	1363.16	-5.36
スペイン IBEX35 指数	10350.80	+71.30
イタリア FTSE MIB 指数	19130.26	+118.30
南ア アフリカ全株指数	49518.48	-252.12

(出所: SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、ユーロ圏や英国の景況指標がさえない内容となったことが嫌気され、主要株価は軟調な動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

2 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 17789.98 (-33.09)、 S&P500 2050.96 (-7.94)、 ナスダック 4712.14 (-23.91)

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、12月ISM製造業総合景況指数が大幅低下し、市場予想も下回ったことで米経済の先行きへの不安が高まり、安全資産とされる米国債への逃避買いが先行した。

午前の利回りは、30年債が2.69% (31日2.75%)、10年債が2.11% (2.17%)、7年債が1.92% (1.97%)、5年債が1.61% (1.65%)、3年債が1.06% (1.07%)、2年債が0.67% (0.67%)。

《欧州のポイント》

①ドラギ総裁は、独経済専門紙とのインタビューで、ECBが物価安定の責務を果たせないリスクが半年前に比べて高まっているとの認識を示し、必要であれば今年初めに行動する用意があるとあらためて表明した。ECBの次回の定例政策委員会は22日に開催予定。

②12月のユーロ圏製造業購買担当者景気指数改定値は、50.6で、速報値の50.8から下方改定された。前月の50.1は上回った。50が景気拡大と縮小の分かれ目となる。生産、新規受注、雇用がすべて低迷した。価格も4カ月連続で下落。域内最大の経済大国であるドイツのPMIも低迷、フランスのPMIも悪化した。

③ポーランドとラトビアに挟まれた旧共産圏のリトアニアが、自国通貨リタスを捨てユーロを採用し、ユーロ参加19カ国目となった。これで、バルト3国は全てユーロ圏の仲間入りを果たした。バルト3国ではラトビアが2014年、エストニアが2011年にそれぞれユーロを導入。このところのロシアの拡張主義の兆候を受け、同盟国に対し安全保障上のつながり強化を求めている。

4 : 20

NY金は、中心限月が31日比2.10ドル高の1オンス=1186.20ドルで取引を終了した。

5:30

NY 原油は、中心限月が 31 日比 0.58 ドル安の 1 バレル=52.69 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1186.20	+2.10
NY 原油	52.69	-0.58

(出所: SBILM)

《 NY 金市場 》

NY 金は、米株価の下落で安全資産とされる金を買われる一方、ドルが主要通貨に対して上昇したことから、ドルの代替資産とされる金を売る動きも見られた。



(出所: ブルームバーク)

《 NY 原油市場 》

NY 原油は、引き続き世界的な供給過剰感が続くとの思惑による売りが続いた。一時は 52 ドル割れ目前となる 1 バレル=52.03 ドルまで下落する場面もあったが、その後は値を戻す動きとなった。終値ベースでは、約 5 年 8 カ月ぶりの安値水準となった。



(出所: ブルームバーク)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17832.99	+9.92	17951.78	17731.30
S&P500 種	2058.20	-0.70	2072.36	2046.04
ナスダック	4726.81	-9.24	4777.01	4698.11

(出所: SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、今年も米景気の回復基調が続くとの期待感を受けた買いが先行しており、序盤の主要株価は堅調な動きとなった。ただ、米経済指標が悪化したことを受けて、マイナス圏まで下げる動きとなったものの、終盤には再び堅調な動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、31 日比で 128 ドル高まで上昇する動きとなった。そして、指標悪化を受けて 31 ドル安まで下落する動きとなったが、終盤には再びプラス圏まで値を戻す動きとなった。



(出所: ブルームバーク)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	120.49	120.75	119.83
EUR/JPY	144.61	145.23	144.13
GBP/JPY	184.76	186.17	184.34
AUD/JPY	97.52	97.89	97.35
NZD/JPY	92.73	93.06	92.57
EUR/USD	1.2002	1.2045	1.2001
AUD/USD	0.8094	0.8132	0.8078

(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤は底固い動きとなったものの、米経済指標が市場予想を下回ったことや、堅調な株価が一転して下落したことを受けて、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。ただ、午後に入ると株価が値を戻す動きとなり、ドル円クロス円も値を戻す動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。